

卒業生

同志社大学文学部哲学科1年
甲斐 太一朗 さん

小中高と北陸学院で学ぶ
北陸学院高等学校2020年度卒業

中高6年間、合気道部※に所属。
学習では英語のほか、歴史の
授業にも興味を持ち、高校時代
には外部の塾に通って、西洋史
を学んでいたほど。



唯一無二の環境で、心も成長できる



中学時代には、外国人観光客の方と英語で話しました。

授業の楽しさと先生の温かさ

中学でコミュニケーションを重視した英語、現代社会と結びつけた歴史などの授業を受けたことが楽しく、高校でも同じ環境で学びたいと考えて、ミッションへの進学を決めました。部活や塾も忙しかったため、授業時間内に集中して学ぶことを心がけ、それでも分からない部分は授業後に先生に質問していました。先生方はいつも親身になって教えてくださるので、本当にありがたかったです。

.....

部活で磨かれた人間力

部活は中学から高校卒業までの6年間、合気道部※で活動しました。社会人と合同で稽古をしたり、部長として後輩の面倒を見たりして、体力だけでなく、他人に対する礼儀やコミュニケーション力も鍛えられ、社会常識を身につけられたと感じています。

※現在は廃部。

聖書の教えが導いた進路

勉強と部活の両立は大変でしたが、苦しいときには、聖書の言葉が心を強くする糧となってくれました。日々の礼拝を通じて自分と向き合う姿勢の大切さを感じていたところ、過去の有名な哲学者たちも自分自身の心と悩みながら向き合っていたことに共感して、本気で哲学を学びたいと思うようになりました。



行事では、毎日の練習の成果を披露！



手厚い支えに感謝

大学合格に向けた受験勉強でも先生方からの手厚いサポートに助けられました。僕は推薦入試での受験だったので、大学に提出するエントリーシートを細かく添削していただいたほか、面接の練習にも試験前日まで付き合ってくださいました。当時の政治や社会、国際的な問題について自分の考えを話すなど、本番を想定した準備は、実際の面接でもとても役立ちました。そうした力強い後押しを受けたおかげで合格し、志望の大学に通う今でも、高校の先生方とは変わらず連絡を取り合っています。後輩のみんなにもミッションの温かい環境で、自分が打ち込めるものを見つけてほしいです。